

ぽっぽだより

2008年8月号

発行 土佐町子育て支援センター
問い合わせ・連絡先土佐町教育委員会
TEL82-04838(担当 稲村)

暑中お見舞い

申し上げます

これからの季節、いよいよ夏本番ですね。厳しい暑さが続きますが、水分補給と休息を心がけて、気持ちよく夏をすごしましょう。

今月の予定

今月は、みつば保育園、樹華夢での出張子育て支援はお休みです。
ということで、毎日 保健福祉センター 母子室でのポップ広場になります。
間違えないようにお願いします。(9時半～15時半)
母子室の中庭には、天気さえよければプールにお水をためて水遊びができるように
に構えておきます。水遊びのできる用意を忘れないようにね。もちろん水筒も忘れないでね。
21日(木曜日)には、楽しい折り紙遊び(簡単な工作)を計画しています。
おたのしみにネ。

母子室でやりますヨ。

さあー、なにかな? なにかな?

ちょこんと聞いて

ウンとやさしくときどき きびしく (ほめてしかって子育て上手より)

子どもは、優しさを求めてやまない存在です。とにもかくにも、子どもは甘えん坊なのです。
世の多くの人々は、親の過保護をいましめる発言をしますが、私はこのことについて、こう主張したいのです。
「わが国の子どもは、過保護と呼ばれるほどの保護をうけているとはいえません。むしろ、過保護と呼ばれるほどに保護してほしい」と。
ウンと優しくしてあげてください。ウンですよ。幼い我が子を抱いて、抱いて、抱きまくってほしいものです。
子どもの訴えを、お話しを、しっかりと受け止めてください。視線を合わせ、うなずきながらジート聞き入ってください。
「わがままな子どもに育ちませんか」という疑問が生まれるかもしれません。
そう、そのおさえが必要でしょう。
悪さをしでかしたら、口で怒って(短く「ダメ」と)身体で抱きしめることです。
「どうして、そういうことをするの」と言いつつ抱き続けるのです。
強情をはるようなことがあったら、ジート聞き入って、「ウン、ちょっとおかしいのと違う。お母さん、おかしいと思うのだけど……」と。
強情は確かに自我を太らせてはいるのだが、まわりとの関係で調節させる必要があるのですから。でも、それは自分を受け止めてもらえてからの調整なのです。
こんなように、日々の子どもとの大人のつきあい上手は、“**ウンとやさしく、ときどき厳しく**”ということにあいなるのです。(秋葉 英則)

保育のおやつ

「カスタードぷりん」

材 料(一人あたり)

・卵 20g ・砂糖 8g ・牛乳 50cc ・バニラエッセンス
〔カラメルソース〕 水 5cc 砂糖 5cc

作り方

卵は泡立てぬようにときほぐす。
牛乳を温め、砂糖を入れる (牛乳は沸騰しないように)
をまぜて、裏ごしをす通す。(忘れないでね!)
大きなボール、又は鉢に入れて蒸し器に並べ、弱火で20～30分ぐらい蒸す。
カラメルソースを作る
砂糖、その半分の水を小鍋に入れ中火以下の火で鍋を動かしながら砂糖を焦がし、こげ茶色がついたら、熱湯をそそいでソースを作る。
器にスプーンまたはお玉じゃくしでプリンをすくい上げ、上からソースをかける。